

近畿・中国・四国
近中四

就職内定
記念対談

大阪府立
門真西高等学校
飛鳥未来高等学校
大阪キャンパス

大阪府の
高校3年生が語る本音対談

2019年4月から晴れて社会人!



大阪府立
門真西高等学校
渡邊 凛さん
【小売業界内定】

飛鳥未来高等学校
大阪キャンパス
前田 梨花さん
【美容業界内定】

就職内定を得て、あとは入社を待つばかりの高校生はどのような心持ちなのだろうか。晴れて4月からの就職・入社が決定している渡邊凛さん(大阪府立門真西高等学校)と前田梨花さん(飛鳥未来高等学校 大阪キャンパス)の二人に集まっていたいただき、就職試験に臨む際の心境や準備していたこと、これからの目標などについて対談を通して語ってもらった。

—入社が内定したい今の会社を受けようと思ったきっかけを教えてください。

前田 私は人に喜ばれる仕事がしたいとずっと考えていました。美容業界の中でも、特に施術の効果が少しずつ表れて「キレイになっていく」過程が分かる仕事に興味があり、自分自身もその経験をしたことがあったので、エステティシャンとして働くことを考えるようになりました。

いまの会社は先生に勧めていただきました。会社内のコンテストを通してお客様への施術や対応の仕方を評価される制度があることを知り、自分のモチベーションになるのではないかと思います。



渡邊 もともと読書が好きで、最初は何か本に関わる仕事に挑戦したいと考えていました。調べていくうちに、本以外の販売にも興味を持つようになって、小売業を通してさまざまなことを学べる環境にあるいまの会社に決めました。

—就職試験を受けるに当たり、どのような準備をしていましたか?

渡邊 実際の就職試験に近い形で進路指導部の先生と模擬面接を行うほか、志望動機の添削をしていただきました。本格的な指導は3年生になってからです。身だしなみや話を聞く姿勢などは厳しく指導されましたので、正直、先生を「怖い」と思うこともありましたが、話し出す時に「えっと」と前置きしてしまう癖があったので、特にその部分を直すのに苦労しました。

前田 私も模擬面接はしていただきましたが、そこまで厳しいとは思いませんでした。苦労したのは言葉を

覚えることです。「貴社」など、普段使わない言葉になかなか慣れなくて。いまも上手に使えるかと聞かれると自信はありません。

—進路選択に悩んだ時は誰かに相談しましたか?

前田 高校1年生の時から進路は決めていたのであまり相談はしませんでした。強いて言うなら、興味のある仕事が多かった分、業界を絞るのに悩みました。美容業界やコンサートスタッフのほかに探偵の仕事も気になっていました(笑)。

渡邊 私は主に両親に相談しましたが、叔父や叔母などにも「どうしたらいいかな」と持ちかけて、アドバイスをもらいました。「どのような仕事でもやってみないと分からない。とにかく挑戦してみなさい」と、両親に言われたことが印象に残っています。

—4月入社を目前に控えて、不安に感じていることはありますか?

前田 入社前研修があり、2週間ほど家族と離れて生活をするため、ホームシックになるかもしれません。また、技術的なテストもありますから、モチベーションを保ちながら合格できるか心配しています。

渡邊 「ここなら頑張れる」と感じる会社に内定をいただいで決心しましたから、迷いや後悔は特にありませんが、先輩とうまくやっていくことができるのかどうか、人間関係に多少なりとも不安があります。

—会社を決める上で「あれば良かったのに」と思うことを挙げてください。

渡邊 前年度入社の先輩社員の話をもう少し聞ければ、就職後のイメージがしやすく、参考になるのではないかと思います。

前田 私も会社案内のパンフレットはいただいたものの、社員の方の様子などがいま一つ分からなかったため、そうしたみなさんと話す機会があれば、より興味を持ってたかもしれません。

Voice 就職指導ご担当の先生から



大阪府立門真西高等学校
進路指導部長
阪口 広徳先生

本校に限らず、就職希望の生徒が多い高校では、近年求人件数が増加してきており、飲食や製造関係をはじめ、各業界・企業のご担当者の方が数多く来校されています。

ただし、生徒が希望する業界と求人は必ずしも一致するとは限りません。そうした時に、希望に近い業界と一緒に探すなど、視野を広げられるように指導をしています。

就職指導の流れの中で特に注力しているのは添削指導です。生徒との対話を通して「何を伝えたいか」を明確にしていきます。また、生徒に「就職する」という意識を持たせることも重要です。就職希望といってもまだ18歳の未成年者に過ぎません。就職指導に最初から積極的に取り組むことができる生徒がいる反面、なかなか気持ちが向いてこない生徒もいますので、生徒全員のモチベーションをいかに上げていくかということに腐心しています。

現状、限られた時間の中で企業と生徒をマッチングさせる期間が短いと感じることもあります。求人票が送られてくるのは7月1日以降で、生徒が求人票に目を通して職場見学先を選ぶ日数は10日間程度。8月後半までに職場見学を済ませるとなると、見学回数も限られ、自ずからマッチングの精度には限界が出てくるでしょう。事前に先輩社員のみなさんから職種などを理解するための機会を設けていただければ、生徒の進路選択の一助になるのではないかと思います。

—就職志望の後輩高校生にアドバイスをください。

渡邊 就職試験に備えて先生が「準備しておきなさい」と指導してくれたことは絶対に守るようにしましょう。志望動機をきちんと添削してもらうなどの準備に真剣に取り組めば、面接まで進めるはずですよ。

前田 早く内定が欲しいからといって焦る必要はないものの、早めに動き出すに越したことはありません。高校2年生くらいから何をしたいかを考えて、関連する職種や業界をリサーチするように心がけましょう。

—将来はどのような社会人になるのが目標ですか?

渡邊 仕事に対して責任を



持てる社会人になりたい。いろいろなお客様と関わる機会が増えることで、自分の視野が広がるのではないかと期待しています!

前田 私は良い意味で先輩に気を遣わない人になりたい。自分自身の意思をしっかり持ち、伝えられる人になれたらと思います。仕事を通してお客様の喜ぶ姿を見ることが楽しみです!



立派な社会人になれるよう
頑張ります!

春からの社会人生活に期待を膨らませている渡邊さんと前田さん。高校生らしい元気な笑顔で将来の夢を語る姿がとても印象的だった